

【2024年上半期の火災統計（速報値）について】

2024年上半期の火災統計（速報値）をとりまとめましたので公表します。

- ※ 速報値としての公表であり、精査の結果、数値を修正する場合があります。
- ※ 小数点を含む数値は、小数第二位を四捨五入して表記しています。
- ※ 平均値は、2014年から2023年までの10年間の数値です。

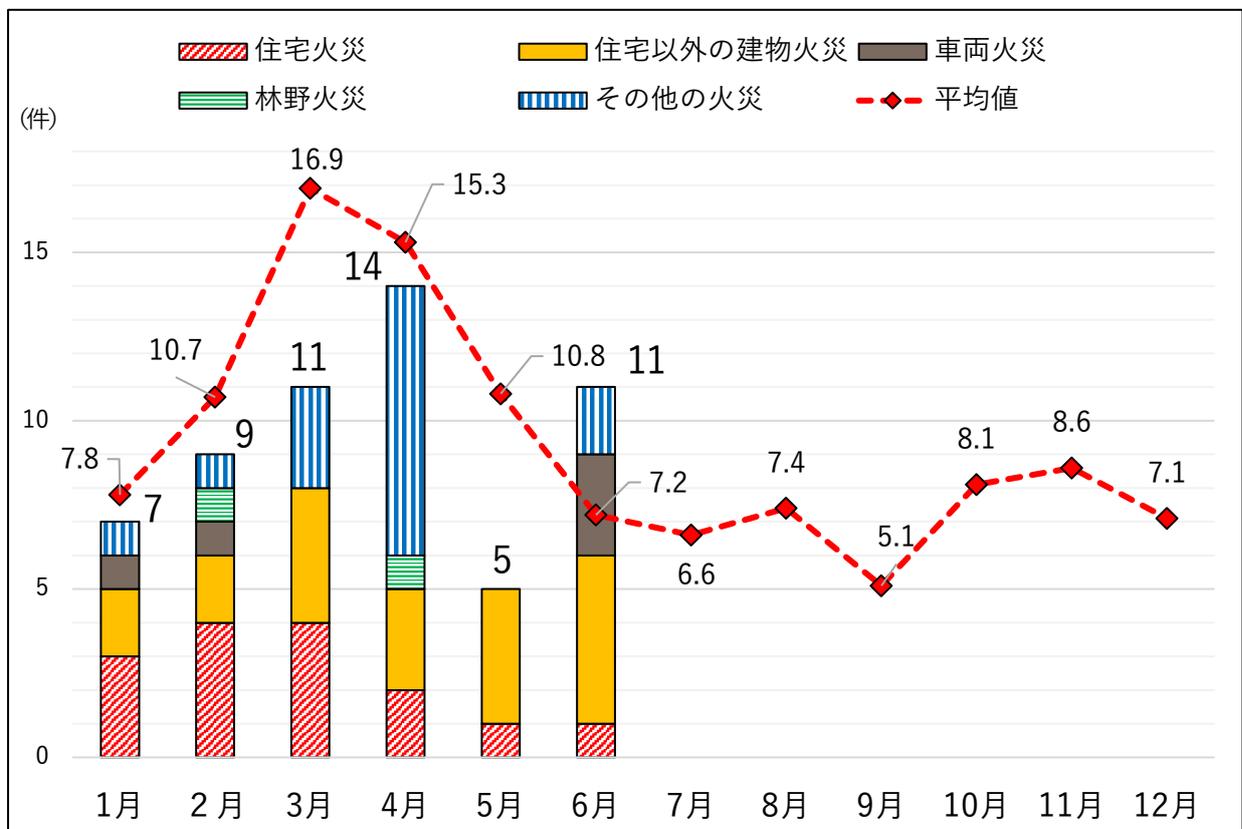
■ 月別火災件数の推移

2024年上半期の火災件数は57件で、2023年同期間の85件と比較して28件（32.9%）減少しました。

月別の件数をみると、4月が最も多く14件、次いで3月と6月がそれぞれ11件、2月が9件と続きます。

過去10年間の平均値と比較すると、6月のみ平均値を上回りました。

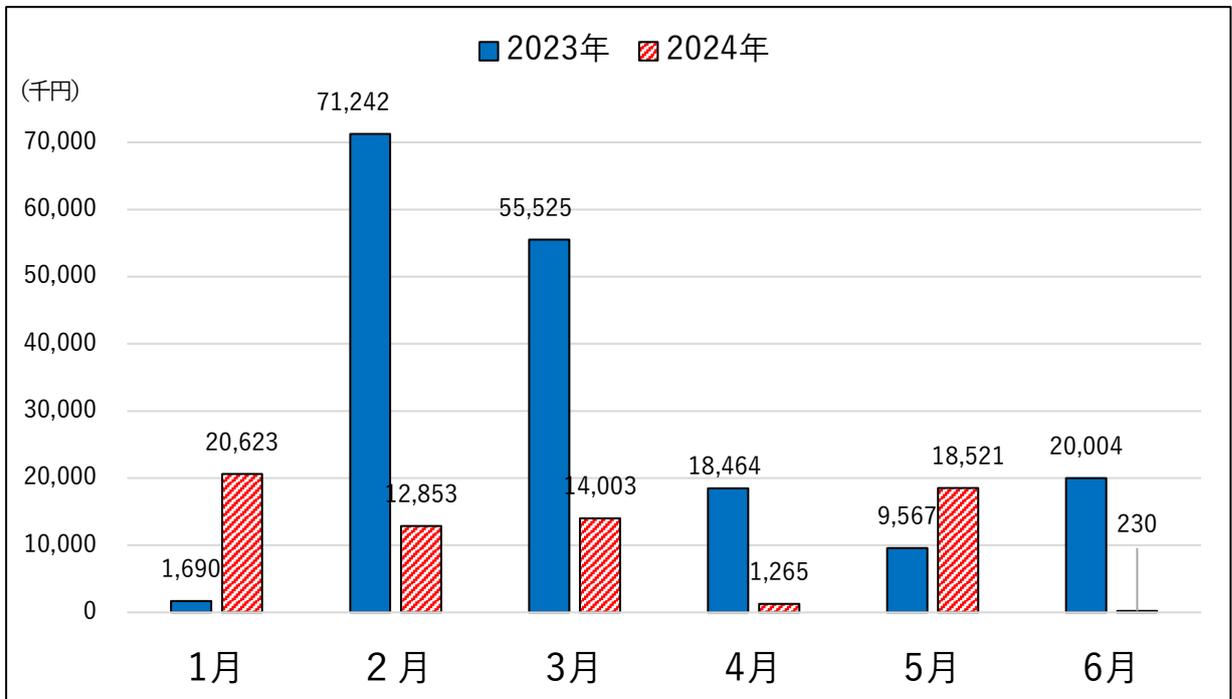
住宅火災に着目すると、2月と3月がそれぞれ4件で最も多く、1月が3件と続きます。



■ 月別損害額の推移

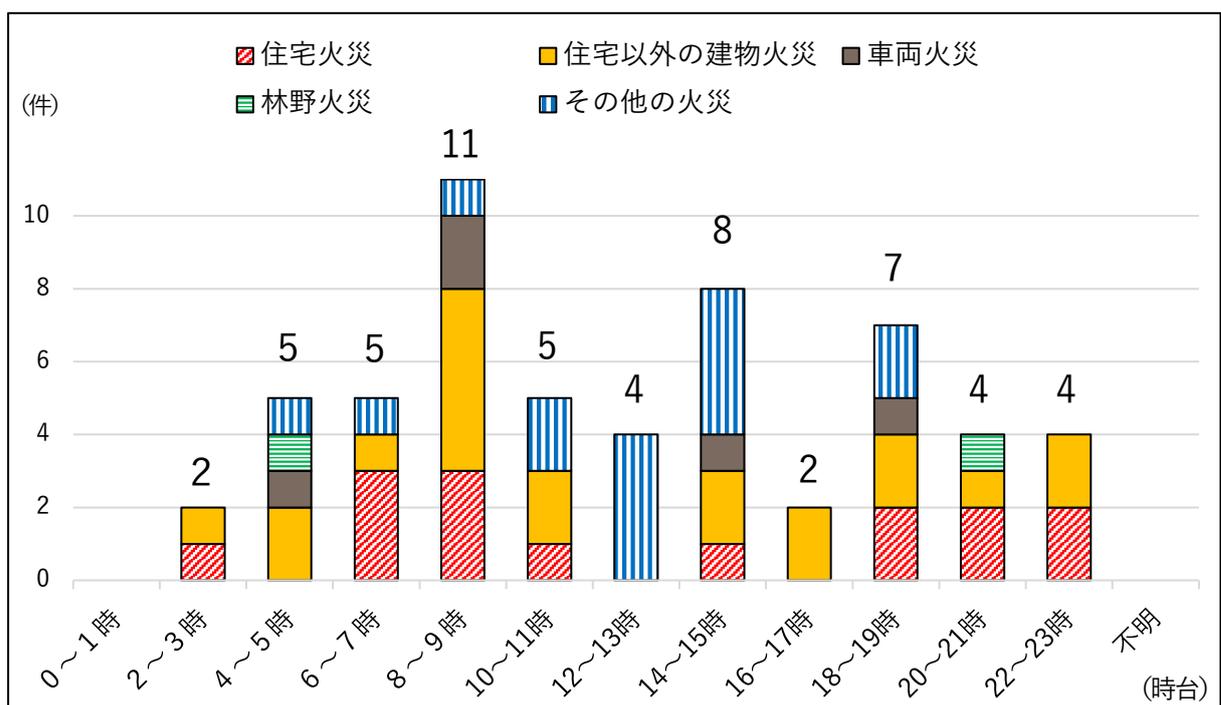
2024 年上半期の火災による損害額は合計 67,495 千円で、2023 年同期間の 176,492 千円と比較して 108,997 千円 (61.8%) 減少しました。

月別にみると、1 月と 5 月は増加し、それ以外の月は減少しました。



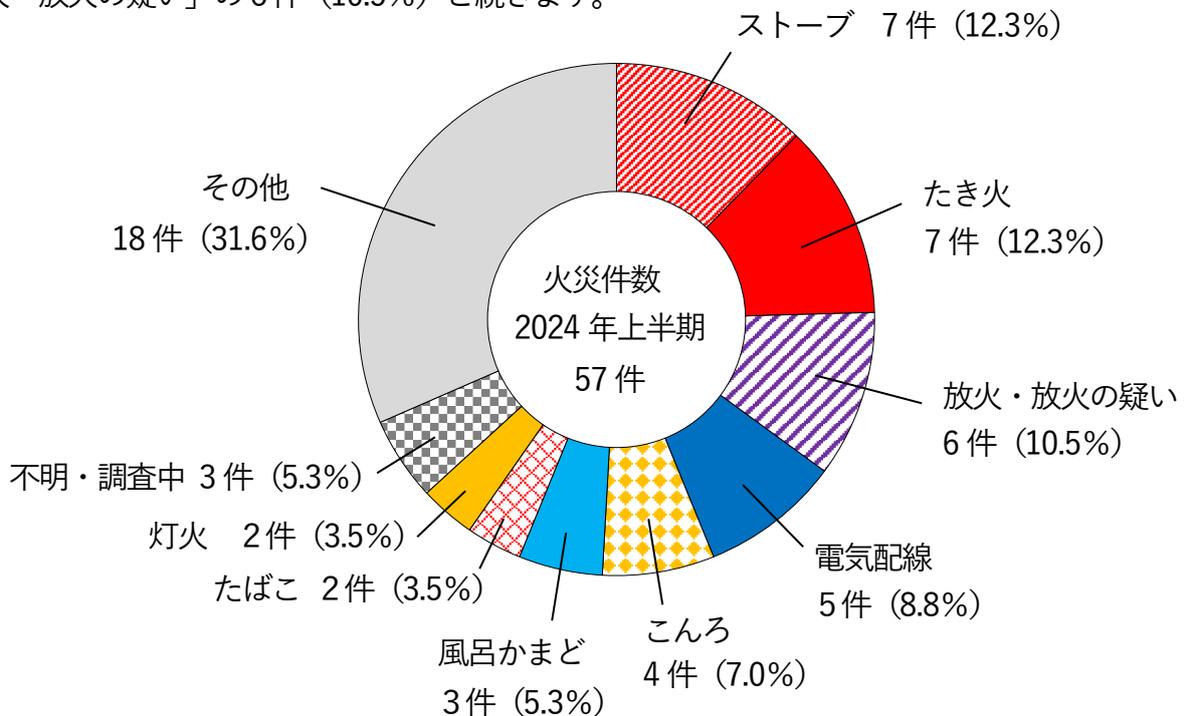
■ 発生時間帯別の火災件数

発生時間帯別の火災件数をみると、「8時から9時台」が11件で最も多く、次いで「14時から15時台」が8件、「18時から19時台」が7件と続きます。



■ 出火原因

出火原因で最も多いのは「ストーブ」と「たき火」がそれぞれ7件（12.3%）、次いで「放火・放火の疑い」の6件（10.5%）と続きます。



■ 火災に至る行動等の分析

火災に至る行動等で最も多いのが「不適切な取り扱い」の24件（42.1%）、次いで「施工・点検・整備不良」の15件（26.3%）、「犯罪」の7件（12.3%）と続きます。

